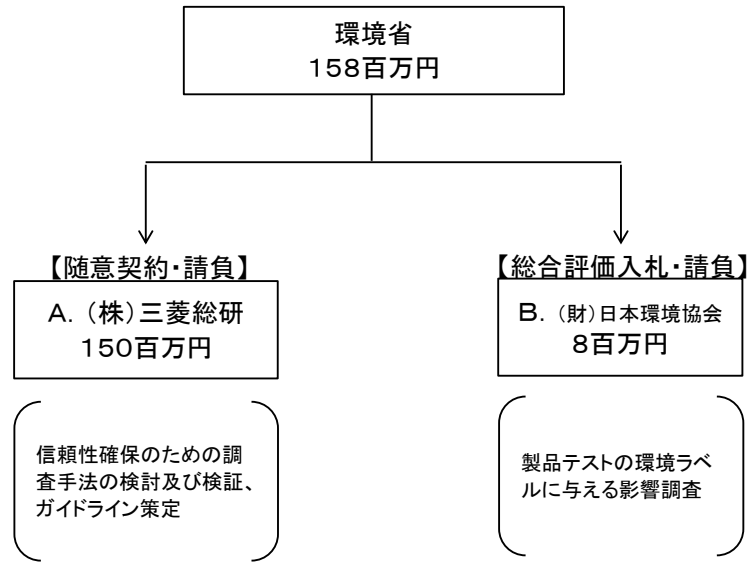


平成23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名	環境表示の信頼性確保のための検証事業費	担当部局	環境省総合環境政策局			作成責任者	環境経済課長 正田 寛	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度	担当課室	環境経済課					
会計区分	一般会計	施策名	8-1 経済のグリーン化の推進					
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	グリーン購入法第14条、附則第2項	関係する計 画、通知等	環境基本計画 第2次循環型社会形成推進基本計画					
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	古紙配合率偽装問題に端を発する一連の偽装により低下している環境表示に対する信頼性を回復させ、グリーン購入を拡大させるために、グリーン購入法に基づく特定調達品目を製造する企業が、環境表示の信頼性を担保するための手法を確立し、その手法を用いた検証を実施するとともに、将来的に企業、消費者の取組みで信頼性の高いグリーン購入市場を実現する手法を検討する。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>I 企画競争入札により請負者を公募し、以下の内容を実施。</p> <p>①信頼性確保のための調査手法の検討及び検証(古紙配合率、再生プラスチック配合率)</p> <p>②グリーン購入の普及拡大に不可欠な特定調達品目の信頼性確保に資するため、基本方針に掲載された品目について、調査手法、検証手法などを調査、検討し、環境表示のガイドラインとしてとりまとめ</p> <p>II このほか、一般競争入札(総合評価落札方式)で、以下の3事業(請負)を実施。</p> <p>①国内の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査</p> <p>②海外の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査</p> <p>③調達者の環境情報確認の信頼性向上方策</p>							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算		300	205	122	29	
		補正予算		0	0			
		繰越し等		0	0			
		計		300	205	122	29	
	執行額		219	158				
執行率(%)		73.0	77.2					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (27年度)
	地方公共団体におけるグリーン購入実施率 (%)		成果実績	%	76.0	73.1	73.8	100.0
			達成度	%	76.0	73.1	73.8	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	検討会・WGの開催回数		活動実績 (当初見込み)	回		8	11	—
						(12)	(13)	
単位当たり コスト	-		(円/)	算出根拠	本事業は特定調達品目選定調査や地方公共団体のグリーン購入調査を実施しており、検討会・WG開催回数などの費用から単位あたりのコストを算出することは困難である。			
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	環境保全調査費	122	29	事業の進捗状況に合わせ、不要・不急な事業に関しては要求をしないこととし、要求額を削減した。				
計	122	29						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>企画書審査委員会に提出された企画書により、支出先及び使途について把握。また、試験実施状況、調査結果、検討結果については、業務完了後に提出された報告書にとりまとめられている。</p> <p>Ⅱ②海外の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査は平成21年度で終了。平成22年度はこの成果も含めⅡ①の国内の環境ラベル等の信頼性確保方策の調査において検討した。</p> <p>なお、本事業で検討した手法を活用することにより、将来的に消費者や事業者の自主的な取り組みへと転換することが可能となる。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善	<p>環境表示の信頼性確保のために、過度な予算要求とならないよう、必要最低限の要求額となるよう精査すること。</p>		
	<p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p>		
<p>事業の進捗状況に合わせ、不要・不急な事業に関しては要求をしないこととし、要求額を削減した。</p>			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
<p></p>			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	信頼性確保のための調査手法の検討 及び検証、ガイドライン策定	150			
計		150	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	製品テストの環境ラベルに与える影響 調査	8			
計		8	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)三菱総研	信頼性確保のための調査手法の検討及び検証、ガイドライン策定	150	随意契約	99.4%
2	(財)日本環境協会	製品テストの環境ラベルに与える影響調査	8	1	78.8%
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					